

ゆいまーる 児童発達支援

支援プログラム

2025 年

30 日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません・安心安全な環境作りに努めます ・仲間を尊重し、チームワークで職務に臨みます・法令を遵守し、健全で適切な施設運営を行います										
支援方針		～好奇心や遊びを通して～ ・一人一人に合った個別支援計画書の作成、5領域に沿った様々な活動を通して日常生活における基本動作、認知、発語の向上を目指します。 ・みんなが安心して過ごせる場所 未就学児、就学児の異年齢交流を含め集団生活や他者との関りを楽しむ経験を増やしていき心身共に豊かな生活を送るための支援を行います。										
営業時間		学校課業日	11	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
学校休業日		10			30		16		30			
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	【健康管理と生活習慣の形成】 ・手洗い、うがい、検温を行い、体調管理をおこなう・衣服の着脱・調理活動で食材にふれて関心を深め、食事の時間を楽しむ・排泄のタイミングでトイレ誘導を行いオムツからパンツへのトイレトレーニングを行う・身支度、片付け・運動と休息のリズム形成										
	運動・感覚	【基本的動作の向上と感覚統合の形成】 ・『全身運動』たつ、すわる、あるく、はしる、まわる、とぶ、姿勢保持、ちからの加減等（散歩、公園遊び、トランポリン、バランスボール、キッズエクササイズ、キッズヨガ） ・『手先指先運動』つまむ、のせる、むすぶ、とおす等（積み木、粘土、パズル、ボタンかけ、おえかき、調理、制作、シール貼り） ・『五感をつかう』みる、きく、かぐ、あじわう、ふれてかんじる（絵本、パネルシアター、スライム、ヨガ、調理、楽器演奏、さんぼ等）										
	認知・行動	【物の見方や考え方を知り行動に繋げる】 ・『ものをみる、なまえをしる、かんがえる』かたち、いろ、おおきさ、おもさ、かず（絵本、ブロック、つみき、おままごと、ごっこあそび、音楽、買い物チャレンジ、調理等） ・おままごとやごっこあそび、ルールのある遊び等を通して物のかしかりや距離感などの行動場面体験を重ねていく										
	言語 コミュニケーション	【生活場面や遊びを通して言葉を知り、あいてとのコミュニケーションを楽しむ】 ・『生活の中でいろんな言葉を伝える』手遊び歌、ふれあい遊び、読み聞かせ、紙芝居、ごっこ遊び ・『遊びを通した関りの中でコミュニケーションを楽しむ』レクリエーション、お玉リレー、調理、課外活動、食事										
	人間関係 社会性	【愛着の形成と安定、生活の中でのマナーやルールを伝えていく】 ・『人とふれあう事で安心感を育む』ふれあい遊び、おままごと、公園、お散歩、季節の制作 ・『集団活動や社会資源を活用した課外活動等を通してマナーやルールを知る』買い物チャレンジ、外食体験、公共交通機関乗車体験、課外活動										
家族支援		・発達支援や子育てに関する個別面談を対面またはオンラインでの実施 ・家庭生活に関する相談援助（兄弟含む） ・ご家族参加型イベントや交流会、保護者会						移行支援		・母子分離→発達段階にあった支援→保育園・幼稚園・小学校へ繋げる（関係機関連携）		
地域支援・地域連携		・社会資源の活用を通して地域の方との関りを深める（近隣の保育園や小学校との交流） ・地域の防災訓練への参加						職員の質の向上		・外部研修（地域研修、講習会、資格取得） ・社内研修（虐待防止及び身体拘束、避難訓練、感染症対策） ・グループ事業所内研修見学・個別面談等		
主な行事等		・季節の行事（お花見、水遊び、ハロウィン、クリスマスパーティー）・公共機関を利用した外出活動（バス、電車、博物館、水族館、動物園） ・外食体験・買物体験（イクスピアリ、駄菓子屋、商業施設、外出席でのお土産）・防災訓練（事業所内年2回以上、防災センターでの体験学習） ・デイサービス訪問交流（ハロウィンイベント、クリスマス会等）										